

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■目次

現 行	見直し案
(略)	(略)
◆中心市街地エリア	◆中心市街地エリア
福知山市の中心市街地エリアの概要 <u>5</u>	福知山市の中心市街地エリアの概要 <u>6</u>
	<u>舞鶴市の中心市街地エリアの概要(舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区域)</u>
<u>東地区(舞鶴市)の概要</u> <u>7</u>	<u>東地区</u> <u>9</u>
<u>西地区(舞鶴市)の概要</u> <u>10</u>	<u>西地区</u> <u>12</u>
綾部市中心市街地(JR綾部駅周辺地区)の概要 . . . <u>13</u>	綾部市 <u>の</u> 中心市街地(JR綾部駅周辺地区) <u>エリア</u> の概要 . . . <u>15</u>
◆特定大規模小売店舗の誘導エリア	◆特定大規模小売店舗の誘導エリア
福知山市の誘導エリアの概要 <u>16</u>	福知山市の誘導エリアの概要 <u>18</u>
舞鶴市の誘導エリアの概要 <u>18</u>	舞鶴市の誘導エリアの概要 <u>21</u>
綾部市誘導エリアの概要 <u>19</u>	綾部市 <u>の</u> 誘導エリアの概要 <u>22</u>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■総括 (P 1、2)

現 行	見直し案
<p>(略)</p> <p>2 商業まちづくりの基本方向</p> <p>◆ 地域の概要</p> <p>中丹地域は、人口は約<u>21.1</u>万人、 (略)</p> <p>平成7年開店の<u>東舞鶴のラポール</u>、平成10年開店のジャスコ福知山 店、平成12年開店の舞鶴SCバザールタウン、平成20年5月開店 のSUPER CENTER PLANT-3 福知山店の<u>4店舗</u>である。</p> <p>◆ 人口・商業集積等の動向</p> <p>人口は、平成<u>2</u>年が約<u>22.0</u>万人、平成<u>12</u>年が約<u>21.6</u>万人、 平成<u>17</u>年が約<u>21.1</u>万人であり、微減傾向にある。</p> <p><u>交通網</u>については、JR山陰本線・福知山線・舞鶴線、<u>北近畿タン ゴ鉄道宮福線・宮津線</u>といった<u>鉄道が交差する交通の要衝</u>であり、<u>立 体交差や新駅開業など整備が進められている</u>。また、<u>舞鶴若狭自動車 道や京都縦貫自動車道</u>など道路整備も推進されているところである。</p> <p>一方、商業統計に見る小売業の年間商品販売額は、平成<u>3</u>年が<u>2, 419</u>億円、平成<u>11</u>年が<u>2,621</u>億円、平成<u>16</u>年が<u>2,262</u> 億円であり、近年において特に厳しい傾向にある。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>2 商業まちづくりの基本方向</p> <p>◆ 地域の概要</p> <p>中丹地域は、人口は約<u>19.4</u>万人 (<u>平成29年7月時点</u>)、 (略)</p> <p>平成7年開店の<u>舞鶴市東地区のらぽーる</u>、平成10年開店のジャスコ 福知山店 (<u>現：イオン福知山店</u>)、平成12年開店の舞鶴SCバザ ールタウン、平成20年開店のSUPER CENTER PLANT- 3 福知山店、<u>平成30年度に開店予定のジュンテンドー西舞鶴モ ールの計5店舗</u>である。</p> <p>◆ 人口・商業集積等の動向</p> <p>人口は、平成<u>17</u>年が約<u>21.1</u>万人、平成<u>22</u>年が約<u>20.4</u>万人、 平成<u>27</u>年が約<u>19.6</u>万人であり、微減傾向にある。</p> <p><u>交通</u>については、JR山陰本線・福知山線・舞鶴線、<u>京都丹後鉄道 宮福線・宮舞線</u>による<u>鉄道交通網</u>が形成されている。また、<u>舞鶴若狭 自動車道</u>は吉川JCTから福知山市、綾部市、舞鶴市を経て敦賀JCT まで伸び、平成27年7月には<u>京都縦貫自動車道</u>が全線開通し、<u>京 阪神地区と中丹地域や北陸地方を結ぶ交通の要所</u>となっている。</p> <p>一方、商業統計に見る小売業の年間商品販売額は、平成<u>14</u>年が<u>2, 310</u>億円、平成<u>19</u>年が<u>2,290</u>億円、平成<u>26</u>年が<u>1,927</u> 億円であり、近年において特に厳しい傾向にある。</p> <p>(略)</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■総括 (P 2、3)

現 行	見直し案
<p>◆ 地域事情等 <u>中丹地域については、優れた自然環境と歴史・文化を礎に、3市が各々特色を発揮しながら発展してきた。</u> <u>改正前の中心市街地活性化法に基づき、3市においては各々中心市街地基本計画を策定し事業に取り組んできたが、法改正に伴い、計画の変更・改定が課題となっている。</u> <u>ロードサイド型の店舗の増加や少子高齢化の急速な進展など厳しい環境変化の中で、駅周辺整備の推進や集客施設づくり、民間活力による都市機能集積など、商店街を含めた中心市街地活性化を推進することが急務となっている。</u></p> <p>3 地域内の中心市街地エリア (略)</p> <p>◆ <u>東地区 (舞鶴市)</u></p> <p>◆ <u>西地区 (舞鶴市)</u></p> <p>◆ 綾部市中心市街地 (J R綾部駅周辺地区)</p>	<p>◆ 地域事情等 <u>管内の商店街は、古くから「まちの顔」として栄えてきたが、郊外への大型店の出店、地域経済の低迷、少子高齢化の進展に加え、消費志向の多様化や消費行動の広域化などにより多くの空き店舗が発生するなど、商店街の衰退が進行している。このような中、中心市街地の賑わい創出や商店街・商業の活性化に向け、商店街団体等の行う集客力の向上や賑わい創出の取組を補助金等を活用し促進しているが、商店主の高齢化や後継者不足の深刻化もあり、厳しい状況が続いている。一方、福知山市においては、京都府で初めて国の認定を受けた「福知山市中心市街地活性化基本計画」が平成28年度から2期目に入り、まちなかへの回遊を促すための集客拠点施設の整備、空き店舗の活用等賑わい創出事業に取り組んでいる。</u></p> <p>3 地域内の中心市街地エリア (略) <u>舞鶴市の中心市街地エリア (舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区域)</u></p> <p>◆ <u>東地区</u></p> <p>◆ <u>西地区</u></p> <p>◆ 綾部市<u>の</u>中心市街地 (J R綾部駅周辺地区) <u>エリア</u></p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■総括 (P 3)

現 行	見直し案
<p>4 地域内の特定大規模小売店舗の誘導エリア (略)</p> <p>◆ 綾部市誘導エリア</p> <p>(略) (追加)</p> <p>5 特定大規模小売店舗に求める地域貢献策 (略)</p> <p>(7) 行政等が取組む交通安全・交通渋滞対策への理解と協力</p>	<p>4 地域内の特定大規模小売店舗の誘導エリア (略)</p> <p>◆ 綾部市<u>の</u>誘導エリア</p> <p>(略)</p> <p>※「<u>誘導エリア (特例誘導エリア)</u>」 <u>誘導エリアに指定するエリアのうち、中心市街地以外で、既に特定大規模小売店舗が立地しているエリアであり、その商業集積地としての役割を今後においても保持するために、特定大規模小売店舗の立地可能エリアとして指定するものをいいます。</u></p> <p>5 特定大規模小売店舗に求める地域貢献策 (略)</p> <p>(7) 行政等が<u>取</u>組む交通安全・交通渋滞対策への理解と協力</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■福知山市の中心市街地エリアの概要 (P 6、7)

現 行	見直し案
<p>2 中心市街地エリアの現況・特色 (略) (3) 本市の中心市街地の特徴は、大規模な再開発が行われている J R 駅舎に隣接し、 (略) (4) 西部地区は、連続立体交差事業とそれに伴う駅周辺整備計画(平成20年度完成予定)等多額の資本を投入しており、 (略) (追加)</p>	<p>2 中心市街地エリアの現況・特色 (略) (3) 本市の中心市街地の特徴は、大規模な再開発が行われた J R 駅舎に隣接し、 (略) (4) 西部地区は、連続立体交差事業と駅周辺整備事業等多額の資本を投入しており、 (略) (6) <u>平成23年3月「福知山市中心市街地活性化基本計画」が国の認定を受け、駅周辺、城周辺、広小路通りにおいて主要事業を実施した。平成28年3月に第2期計画の国の認定を受け、さらに事業を推進している。</u></p>
<p>3 中心市街地エリアの総面積 約 <u>1,168千㎡</u></p>	<p>3 中心市街地エリアの総面積 約 <u>116ha</u></p>
<p>4 中心市街地活性化基本計画の策定状況 平成12年3月16日策定済</p>	<p>4 中心市街地活性化基本計画の策定状況 平成12年3月16日策定済 <u>平成23年3月25日策定済</u> <u>平成28年3月15日策定済</u></p>
<p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>平成20年度認定申請予定</u></p>	<p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>平成23年3月25日 認定</u> <u>平成28年3月15日 認定</u></p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■福知山市の中心市街地エリアの概要 (P 7、8)

現 行	見直し案
<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標 <u>(※ 中心市街地活性化基本計画の認定申請に向けて検討中。)</u></p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向</p> <p>(略)</p> <p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口 現状 <u>(平成17年10月1日国勢調査人口)</u> <u>6, 376人</u></p> <p>◇ <u>主要駅の乗降客数</u> 現状 <u>(平成17年計 JR・KTR福知山駅)</u> <u>1, 770, 939人</u></p> <p>◇ 歩行者通行量 現状 <u>(平成19年2月、福知山商工会議所調査 平日 全調査地点の計)</u> <u>14, 682人</u></p> <p>◇ <u>空き店舗数</u> 現状 <u>(平成19年9月、福知山商工会議所 活用可能店舗)</u> <u>24店舗</u></p>	<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標</p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向 <u>(1) 平成23年3月に福知山市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受け、駅周辺をはじめとして、城周辺、広小路通りの整備を進めてきた。</u> <u>(2) 平成28年3月には第2期の認定を受けて、広小路通りの電線類地中化工事や駅正面通りのリニューアル事業を進めている。</u></p> <p>(略)</p> <p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口 現状 <u>(平成29年9月末 住民基本台帳人口)</u> <u>5, 480人</u> <u>5年後 (平成34年度) 目標</u> <u>5, 444人</u> <u>10年後 (平成39年度) 目標</u> <u>5, 441人</u></p> <p>◇ 歩行者通行量 現状 <u>(平成29年9月 中心市街地活性化基本計画 日・月の平均)</u> <u>4, 066人</u> <u>5年後 (平成34年度) 目標</u> <u>4, 472人</u> <u>10年後 (平成39年度) 目標</u> <u>4, 919人</u></p>

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 東地区 (P 9、10)

現 行	見直し案
<p><u>東地区 (舞鶴市) の概要</u></p> <p>1 区域 北端：<u>舞鶴東港</u> 東端：<u>市道千歳通線～市道与保呂西岸線</u> 南端：<u>市道三安通線</u> 西端：<u>国道27号～和泉通線～波崎通線</u></p> <p>2 中心市街地エリアの現況・特色 (略) <u>碁盤目状に区画した市街地は、通り名に軍艦名がつけられるなど海軍とゆかりが深く、付近で土地区画整理事業による整備も進む。近年は、軍が残した近代化遺産である赤れんが倉庫の活用を進めており、赤れんが博物館、市政記念館に続き、平成19年4月にオープンした歴史文化遺産とまちづくりの拠点施設である智恵蔵の整備のほか、赤れんが倉庫群全体を保存・整備し、「赤れんがパーク」としての活用を検討している。</u></p> <p>3 中心市街地エリアの総面積 約<u>1,670</u>千㎡ (略)</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>認定申請について検討中</u></p>	<p><u>舞鶴市の中心市街地エリアの概要 (舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区域) 東地区</u></p> <p>1 区域 北端：<u>市道潮路通線</u> 東端：<u>市道八雲通線～市道千代田通線～市道和泉通線</u> 南端：<u>市道森本町溝尻線</u> 西端：<u>市道七条通線～府道舞鶴和知線</u></p> <p>2 中心市街地エリアの現況・特色 (略) <u>碁盤目状に区画した市街地は、通り名に軍艦名がつけられるなど海軍とゆかりが深く、東舞鶴駅周辺地区では土地区画整理事業による整備により、南北市街地の一体化が図られた。東舞鶴駅北側では中心市街地を形成してきた商店街が位置しており、南側には大型商業施設が立地している。</u></p> <p>3 中心市街地エリアの総面積 約<u>642</u>千㎡ (略)</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>なし</u></p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 東地区 (P 10)

現 行	見直し案
<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標</p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向</p> <p>東地区は、市街地<u>中心</u>にまとまって集積している商店街において来街者の減少による売上の減少、店主の高齢化、後継者不足などによる空き店舗・空き地の増加といった商業の衰退が中心市街地に大きな影響を与えていることから、<u>J R 東舞鶴駅北の商店街集積エリアを「にぎわいと商業のコアゾーン」と位置付け、商店街の活性化や、暮らしやすい住宅・住環境整備を推進するとともに、港町ルネッサンスをテーマに海軍の遺産である赤れんが倉庫群や海に関する資産などの港文化を活かし、その魅力を感じることができるまちづくりを進め、市内観光や広域からの集客を意識したまちづくりを進めていく。</u></p> <p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口</p> <p>現状 (平成17年国勢調査人口) <u>6, 387人</u></p> <p>5年後 (平成24年度) 目標 <u>6, 600人</u></p> <p>◇ 若年者人口</p> <p>現状 (平成17年国勢調査人口15～29歳 市域全体) <u>14, 277人</u></p> <p>◇ 事業所数</p>	<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標</p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向</p> <p>東地区は、市街地<u>に</u>まとまって集積している商店街において来街者の減少による売上の減少、店主の高齢化、後継者不足などによる空き店舗・空き地の増加といった商業の衰退が中心市街地に大きな影響を与えていることから、<u>J R 東舞鶴駅周辺に都市機能を集約するとともに、人口減少が著しい駅北側の商店街周辺を居住誘導区域に設定することで駅を中心とした均衡あるまちづくりを進めていく。</u></p> <p>◆ 数値</p> <p>◇ 人口</p> <p>現状 (平成28年9月末 住民基本台帳人口) <u>3, 310人</u></p> <p>◇ 若年者人口</p> <p>現状 (平成27年国勢調査人口15～29歳 市域全体) <u>11, 519人</u></p> <p>◇ 事業所数</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 東地区 (P10、11)

現 行	見直し案
<p>現状 (平成<u>16</u>年事業所・企業統計調査 市域全体) <u>4,666</u>所</p>	<p>現状 (平成<u>26</u>年経済センサス基礎調査 市域全体) <u>3,805</u>所</p>
<p>◇ 従業者数 現状 (平成<u>16</u>年事業所・企業統計調査 市域全体) <u>32,685</u>人</p>	<p>◇ 従業者数 現状 (平成<u>26</u>年経済センサス基礎調査 市域全体) <u>29,713</u>人</p>
<p>◇ 年間商品販売額 現状 (平成<u>16</u>年商業統計調査 市域全体) <u>19,109,959</u>万円</p>	<p>◇ 年間商品販売額 現状 (平成<u>26</u>年商業統計調査 市域全体) <u>13,292,200</u>万円</p>
<p>◇ 主要駅の乗降客数 現状 (平成<u>18</u>年8月、乗客数) <u>44,923</u>人</p>	<p>◇ 主要駅の乗降客数 現状 (平成<u>27</u>年年間乗客数) <u>548,000</u>人</p>
<p>◇ 歩行者通行量 現状 (平成<u>17</u>年6月) <u>6,140</u>人 <u>5年後 (平成24年度) 目標</u> <u>7,000</u>人</p>	<p>◇ 歩行者通行量 現状 (平成<u>29</u>年6月) <u>2,690</u>人</p>
<p>◇ 空き店舗数 現状 (平成<u>13</u>年) <u>65</u>店舗</p>	<p>◇ 空き店舗数 現状 (平成<u>25</u>年3月) <u>59</u>店舗</p>

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 西地区 (P 1 2、1 3)

現 行	見直し案
<p><u>西地区（舞鶴）の概要</u></p> <p>1 区域 北端：<u>舞鶴西港</u> 東端：<u>市道大内南4号線～市道七日市大内線</u> 南端：<u>市道引土境谷線</u> 西端：<u>国道175号～朝代紺屋町線～主要地方道志高・西舞鶴線～国道27号</u></p> <p>(略)</p> <p>現在においても、<u>田辺城跡</u>と城下町としてのたたずまいを残す古い町並みや、歴史ある寺社仏閣など数多くの史跡が残されており、それらの地域資源を活かしたまちづくりを進めている<u>一方で、日本海側の玄関口として、関西経済圏における北東アジア地域との経済・文化の交流拠点として機能し、韓国などの対岸諸国との交流を深めている。</u></p> <p>3 中心市街地エリアの総面積 約<u>1,540</u>千㎡</p> <p>(略)</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>認定申請について検討中</u></p>	<p><u>舞鶴市の中心市街地エリアの概要（舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区域）</u> <u>西地区</u></p> <p>1 区域 北端：<u>国道175号～国道27号</u> 東端：<u>市道海舞鶴線～府道小倉西舞鶴線～市道伊佐津七日市線</u> 南端：<u>市道引土伊佐津線</u> 西端：<u>市道新町松陰線～朝代紺屋線～宮前引土新町線～引土島崎線～府道志高西舞鶴線～国道27号</u></p> <p>(略)</p> <p>現在においても、<u>田辺城址</u>と城下町としてのたたずまいを残す古い町並みや、歴史ある寺社仏閣など数多くの史跡が残されており、それらの地域資源を活かしたまちづくりを進めている。<u>西舞鶴駅ではJRと京都丹後鉄道の2路線が乗り入れ、接続駅となっている。西舞鶴駅北側では、中心市街地を形成してきた商店街が位置しており、南側には大型商業施設が立地している。</u></p> <p>3 中心市街地エリアの総面積 約<u>875</u>千㎡</p> <p>(略)</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>なし</u></p>

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 西地区 (P 1 3)

現 行	見直し案
<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標</p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向 <u>西地区中心市街地も東地区と同様に人口減少と高齢化が進んでいる。西地区の商店街はJ R西舞鶴駅から西北方向に集積しており、南北に長い形態となっている。東地区と同様に来街者の減少による売上の減少、店主の高齢化、後継者不足などによる空き店舗・空き地の増加といった衰退が見られる。西地区の商業活性化のためには、個店の魅力だけでなく、まち全体の魅力づくりが必要となるため、西地区については、城下町らしい歴史的な地域資源、祭や地域の伝統文化を有効活用し、商業が集積しているエリアとの回遊も魅力を高め、市民や訪れる人にとって魅力的なまちづくりを進める。</u></p> <p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口 現状 (平成17年国勢調査人口) <u>7, 149人</u> 5年後 (平成24年度) 目標 <u>7, 700人</u></p> <p>◇ 若年者人口 現状 (平成17年国勢調査人口15～29歳 市域全体) <u>14, 277人</u></p> <p>◇ 事業所数 現状 (平成16年事業所・企業統計調査 市域全体) <u>4, 666所</u></p>	<p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標</p> <p>◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向 <u>西地区は、市街地にまとまって集積している商店街において来街者の減少による売上の減少、店主の高齢化、後継者不足などによる空き店舗・空き地の増加といった商業の衰退が中心市街地に大きな影響を与えていることから、J R西舞鶴駅周辺に都市機能を集約するとともに、人口減少が著しい駅北側の商店街周辺を居住誘導区域に設定することで駅を中心とした均衡あるまちづくりを進めていく。</u></p> <p>◆ 数値</p> <p>◇ 人口 現状 (平成28年9月末 住民基本台帳人口) <u>3, 218人</u></p> <p>◇ 若年者人口 現状 (平成27年国勢調査人口15～29歳 市域全体) <u>11, 519人</u></p> <p>◇ 事業所数 現状 (平成26年経済センサス基礎調査 市域全体) <u>3, 805所</u></p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■舞鶴市の中心市街地エリアの概要 西地区 (P 1 3、1 4)

現 行	見直し案
<p>◇ 従業者数 現状 (平成<u>1 6</u>年事業所・企業統計調査 市域全体) <u>3 2, 6 8 5</u>人</p>	<p>◇ 従業者数 現状 (平成<u>2 6</u>年経済センサス基礎調査 市域全体) <u>2 9, 7 1 3</u>人</p>
<p>◇ 年間商品販売額 現状 (平成<u>1 6</u>年商業統計調査 市域全体) <u>1 9, 1 0 9, 9 5 9</u>万円</p>	<p>◇ 年間商品販売額 現状 (平成<u>2 6</u>年商業統計調査 市域全体) <u>1 3, 2 9 2, 2 0 0</u>万円</p>
<p>◇ 主要駅の乗降客数 現状 (平成<u>1 8</u>年8月、乗客数) <u>4 1, 0 6 5</u>人</p>	<p>◇ 主要駅の乗降客数 現状 (平成<u>2 7</u>年年間乗客数) <u>5 1 8, 0 0 0</u>人</p>
<p>◇ 歩行者通行量 現状 (平成<u>1 7</u>年6月) <u>8, 6 3 8</u>人 <u>5年後 (平成2 4年度) 目標</u> <u>9, 0 0 0</u>人</p>	<p>◇ 歩行者通行量 現状 (平成<u>2 9</u>年6月) <u>4, 5 2 8</u>人</p>
<p>◇ 空き店舗数 現状 (平成<u>1 3</u>年) <u>4 7</u>店舗</p>	<p>◇ 空き店舗数 現状 (平成<u>2 5</u>年3月) <u>4 8</u>店舗</p>

■綾部市の中心市街地（J R綾部駅周辺地区）エリアの概要（P 1 5、1 6）

現 行	見直し案
<p>綾部市中心市街地（J R綾部駅周辺地区）の概要 （略）</p> <p>2 中心市街地エリアの現況・特色 （略）</p> <p>都市基盤が充実してきたところであるが、<u>居住の郊外化、消費の流出</u>により空洞化が進み、エリア内の商店街等も賑わいが薄れ、居住人口の減少、高齢化の進行、空き地の増加など深刻な状況にある。</p> <p>エリア内の古民家や歴史的建造物などの資産を活かし、商業者や市民とともに、魅力ある商業環境の創出、都市住民との交流促進等により活性化を図ることと合わせ、J R綾部駅北側駅前の市街地整備が課題となっている。</p> <p>（略）</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>認定申請について検討中</u></p> <p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標 （略）</p> <p>また、J R綾部駅北側駅前には<u>遊休地</u>があり、<u>それらの土地の活用</u>を図ることにより、<u>綾部の玄関としてふさわしい市街地整備を行い、駅南側も含めた中心市街地への居住促進を図る。</u></p>	<p>綾部市の中心市街地（J R綾部駅周辺地区）<u>エリア</u>の概要 （略）</p> <p>2 中心市街地エリアの現況・特色 （略）</p> <p>都市基盤が充実してきた<u>こと</u>に伴い、<u>大規模小売店舗の立地や、民間企業による住宅開発が活発に行われている。</u>このことにより、<u>商業活動の重心が駅北側に移行しつつある。</u>駅南側の商店街については、<u>消費の流出により空洞化が進み、エリア内の商店街等も賑わいが薄れ、空き地、空き家の増加など深刻な状況にある。</u></p> <p><u>エリア内の古民家や歴史的建造物などの資産や、平成26年に総合交流拠点施設として整備したあやべぐんゼスクエア</u>を活かし、商業者や市民とともに魅力ある商業環境の創出、都市住民との交流促進等を図ることにより、<u>J R綾部駅で隔てた南北地域のバランスのとれたまちづくりを進めなければならない。</u></p> <p>（略）</p> <p>5 中心市街地活性化基本計画の国の認定等の状況 <u>なし</u></p> <p>6 中心市街地エリアの現状と将来目標 （略）</p> <p>また、J R綾部駅北側には<u>都市住民との交流を目的とした施設整備や、住宅開発、商業施設立地が進められてきたことにより、綾部の玄関としてふさわしい市街地整備が整ってきた。</u></p> <p><u>これら南北の商業地域等の魅力を相互に発信し、人が行き来するエ</u></p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■綾部市の中心市街地 (JR綾部駅周辺地区) エリアの概要 (P16、17)

現 行	見直し案
<p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口</p> <p>現状 (平成<u>18</u>年3月末、住民基本台帳人口) <u>3,044</u>人</p> <p>5年後 (平成<u>24</u>年度) 目標 <u>3,200</u>人</p> <p>10年後 (平成<u>29</u>年度) 目標 <u>3,500</u>人</p> <p>◇ 若年者人口</p> <p>現状 (平成<u>17</u>年国勢調査人口15～29歳) <u>429</u>人</p> <p>5年後 (平成<u>24</u>年度) 目標 <u>450</u>人</p> <p>10年後 (平成<u>29</u>年度) 目標 <u>500</u>人</p> <p>◇ 事業所数</p> <p>現状 (平成<u>16</u>年事業所・企業統計調査) <u>487</u>所</p> <p>5年後 (平成<u>24</u>年度) 目標 <u>490</u>所</p>	<p><u>リアづくりを図る。</u></p> <p>◆ 数値目標</p> <p>◇ 人口</p> <p>現状 (平成<u>29</u>年3月末、住民基本台帳人口) <u>2,808</u>人</p> <p>5年後 (平成<u>34</u>年度) 目標 <u>2,900</u>人</p> <p>10年後 (平成<u>39</u>年度) 目標 <u>3,200</u>人</p> <p>◇ 若年者人口</p> <p>現状 (平成<u>27</u>年国勢調査人口15～29歳) <u>356</u>人</p> <p>5年後 (平成<u>34</u>年度) 目標 <u>370</u>人</p> <p>10年後 (平成<u>39</u>年度) 目標 <u>420</u>人</p> <p>◇ 事業所数</p> <p>現状 (平成<u>26</u>年経済センサス基礎調査) <u>477</u>所</p> <p>5年後 (平成<u>34</u>年度) 目標 <u>480</u>所</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■綾部市の中心市街地（JR綾部駅周辺地区）エリアの概要（P17）

現 行	見直し案
<p>10年後（平成<u>29</u>年度）目標 <u>500</u>所</p> <p>◇ 従業者数 現状（平成<u>16</u>年事業所・企業統計調査） <u>4,103</u>人 5年後（平成<u>24</u>年度）目標 <u>4,130</u>人 10年後（平成<u>29</u>年度）目標 <u>4,200</u>人</p>	<p>10年後（平成<u>39</u>年度）目標 <u>490</u>所</p> <p>◇ 従業者数 現状（平成<u>26</u>年経済センサス基礎調査） <u>3,438</u>人 5年後（平成<u>34</u>年度）目標 <u>3,460</u>人 10年後（平成<u>39</u>年度）目標 <u>3,530</u>人</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■福知山市の誘導エリアの概要 (P 19、20)

現 行	見直し案
<p>(略)</p> <p>2 誘導エリアの総面積 約 <u>1,375</u> km²</p> <p>3 周辺地域の現況 (略)</p> <p>(2) 本市の中心市街地の特徴は、大規模な再開発が行われている J R 駅舎に隣接し、今後、相対的に高い活力を発揮しなければならない西部地区と、ドッコイセやイベント等文化性を絡めた商店活動と居住空間として利便性を高める環境整備との調和を<u>追及</u>する東部地区と <u>いった</u>、それぞれの特性を活かすことが重要である。</p> <p>(3) 西部地区は、連続立体交差事業と <u>それに伴う駅周辺整備計画(平成20年度完成予定)</u> 等多額の資本を投入しており、駅周辺地区が「福知山の顔の中の顔」として機能していかなければならない。</p> <p>(4) 岩井・かしの木台周辺地区は大型店や郊外型店舗が立地しており、広域的な商圈の維持や集客による流入促進に繋がっている。今後は <u>良好な市街地</u> の誘導を図り、中心市街地との相乗効果を図っていく。</p> <p>4 主要駅(バス停)及び距離</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ J R 福知山駅(誘導エリア地区内) ◆ <u>K T R</u> 荒河かしの木台駅(誘導エリア地区外) 当地区までの距離 500m 	<p>(略)</p> <p>2 誘導エリアの総面積 約 <u>137</u> ha</p> <p>3 周辺地域の現況 (略)</p> <p>(2) 本市の中心市街地の特徴は、大規模な再開発が行われた J R 駅舎に隣接し、今後、相対的に高い活力を発揮しなければならない西部地区と、ドッコイセやイベント等文化性を絡めた商店活動と居住空間として利便性を高める環境整備との調和を <u>追求</u> する東部地区と、それぞれの特性を活かすことが重要である。</p> <p>(3) 西部地区は、連続立体交差事業と <u>駅周辺整備事業</u> 等多額の資本を投入しており、駅周辺地区が「福知山の顔の中の顔」として機能していかなければならない。</p> <p>(4) 岩井・かしの木台周辺地区は大型店や郊外型店舗が立地しており、広域的な商圈の維持や集客による流入促進に繋がっている。今後も <u>良好な土地利用</u> の誘導を図り、中心市街地との相乗効果を図っていく。</p> <p>4 主要駅(バス停)及び距離</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ J R 福知山駅(誘導エリア地区内) ◆ <u>京都丹後鉄道</u> 荒河かしの木台駅(誘導エリア地区外) 当地区までの距離 500m

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■舞鶴市の誘導エリアの概要 (P 2 1)

現 行	見直し案
<p>1 誘導エリアの区域</p> <p>◆ 現況用途地域 商業地域、近隣商業地域、準工業地域</p> <p>2 誘導エリアの総面積 約 <u>6, 3 4 4</u> 千㎡</p>	<p>1 誘導エリアの区域</p> <p>◆ 現況用途地域 商業地域、近隣商業地域、準工業地域 <u>(うち一部地域除く)</u></p> <p>2 誘導エリアの総面積 約 <u>5, 3 5 9</u> 千㎡</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■綾部市の誘導エリアの概要 (P 2 2、2 3)

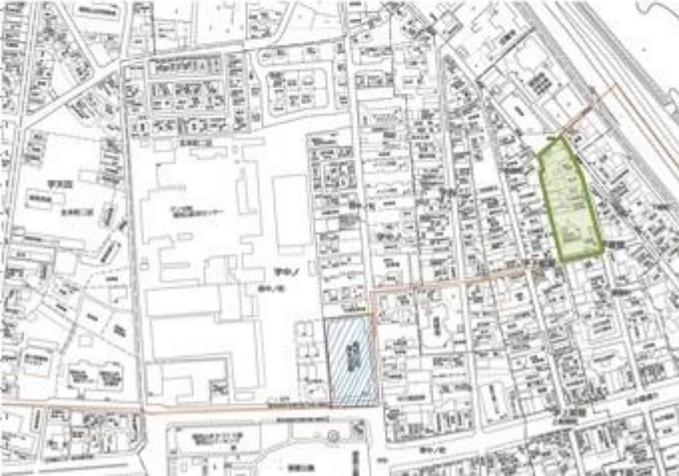
現 行	見直し案
<p>綾部市誘導エリアの概要</p> <p>(略)</p> <p>3 周辺地域の現況</p> <p>(略)</p> <p>(2) 平成11年にJR綾部駅北口が開設され、<u>北側駅前の市街地整備が求められている。</u></p> <p>(3) 誘導エリア東側に隣接する青野町には、住宅地整備や集合住宅の建設により居住が進んでいる。</p>	<p>綾部市<u>の</u>誘導エリアの概要</p> <p>(略)</p> <p>3 周辺地域の現況</p> <p>(略)</p> <p>(2) 平成11年にJR綾部駅北口が開設され、<u>駅北周辺の宅地開発や、大型小売店舗の立地等が進み、商業、もの、人の流れの中心となっている。</u></p> <p>(3) <u>駅北側</u>や誘導エリア東側に隣接する青野町には、住宅地整備や集合住宅の建設により居住が進んでいる。</p>

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

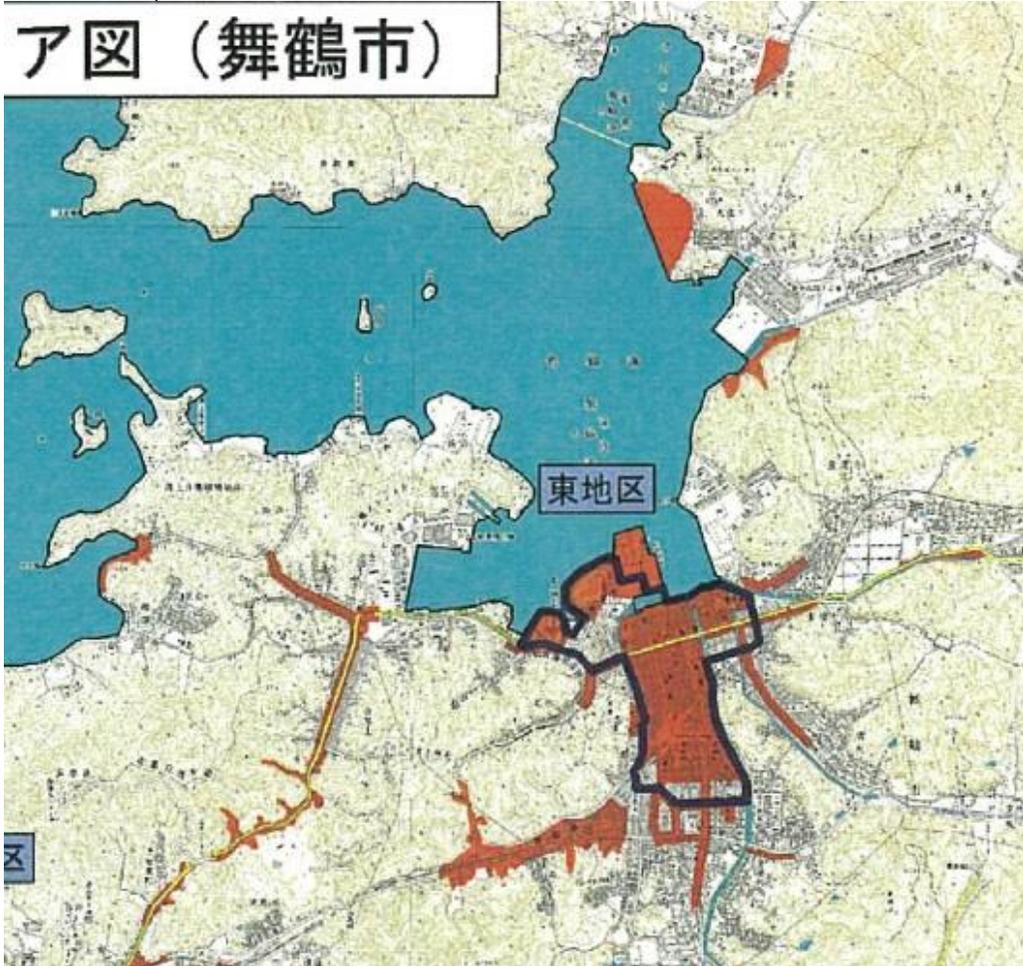
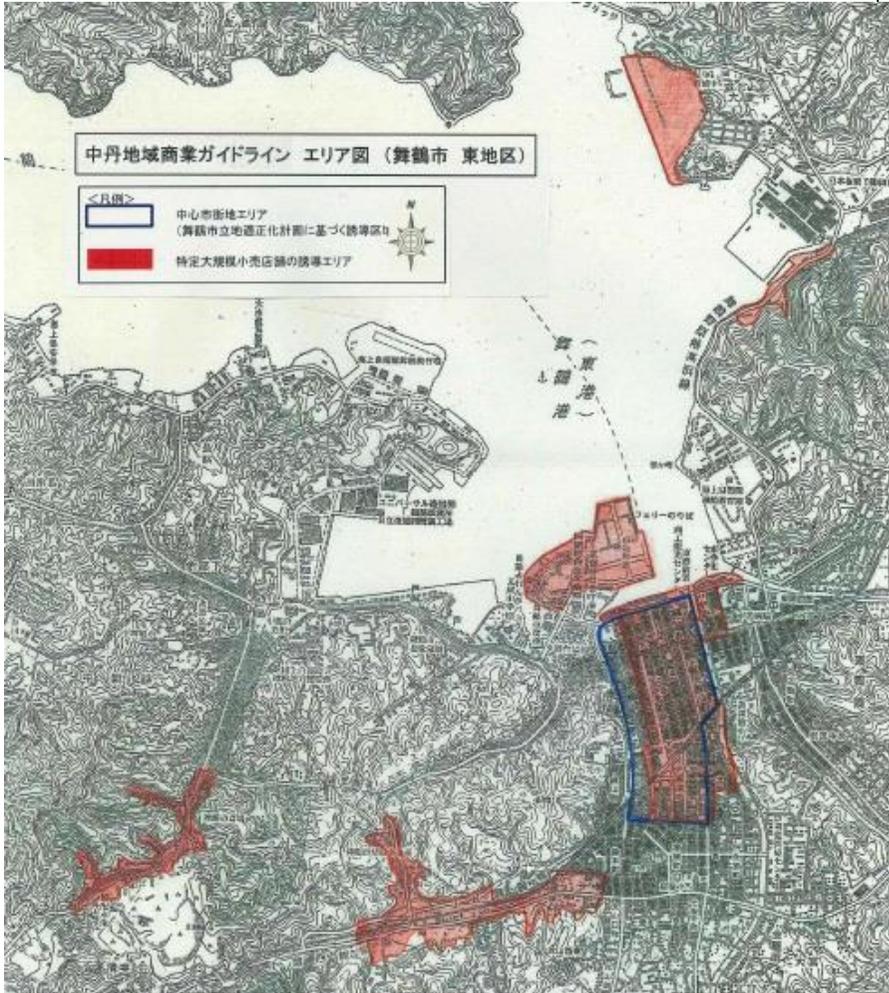
■エリア図 福知山市 (P 2 4)

現 行	見直し案

■エリア図 福知山市 (P 2 5)

現 行	見直し案
<p>(追加)</p>	<p>福知山市中心市街地エリア変更図</p>  <p> ■ 「中心市街地現行エリア」の範囲の変更 ■ 「中心市街地現行エリア」の範囲の変更申請中 (H30.10月現在) </p> <p>< 拡大図 ></p> 

■エリア図 舞鶴市 東地区 (P 26)

現 行	見直し案
 <p>ア図 (舞鶴市)</p>	 <p>中丹地域商業ガイドライン エリア図 (舞鶴市 東地区)</p> <p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地エリア (舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区画) 特定大規模小売店舗の誘導エリア

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■エリア図 舞鶴市 西地区 (P 27)

現 行	見直し案
	<p>中丹地域商業ガイドライン エリア図 (舞鶴市 西地区)</p> <p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地エリア (舞鶴市立地適正化計画に基づく誘導区域) 特定大規模小売店舗の誘導エリア

中丹地域商業ガイドライン見直し案 新旧対照表 (組織名等の変更を除く)

■エリア図 舞鶴市 東地区 西地区 (P 28)

現 行	見直し案
<p>(追加)</p>	